

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書		第5学年 第6学年	英語・509 英語・510 英語・609
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～好きな教科や食事の注文など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～自己紹介や中学校でしたいことなど、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～文字の名前から音を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた小学校の思い出を伝えるメモなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～誕生日にほしいものや身近な人について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～行きたい国に係り、訪れたい観光地をたずねたり、そこでできることに答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～自分のことや自分の暮らす地域のよさに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～おすすめランチセットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動</p> <p>第6学年～将来したいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、おすすめの施設をたずねることや、自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Unit 7において、日本の場所について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って行きたい都道府県についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、観光案内</p>				

<p>排列，分量等</p>	<p>CMを発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～Unit 2において，日常生活について聞く活動を通して，表現に慣れ親しんだ後，学んだ表現を使って一日の生活を紹介し合う活動に取り組み，終末の活動で「週末の過ごし方カード」を書き，発表する活動へ展開するなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○内容の分量については，次のようになっている。</p> <p>第5学年～聞くことは54，読むことは13，話すこと〔やり取り〕は68，話すこと〔発表〕は7，書くことは48の活動があり，ユニット数は8ユニット，総ページ数は106ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第6学年～聞くことは73，読むことは43，話すこと〔やり取り〕は51，話すこと〔発表〕は11，書くことは48の活動があり，ユニット数は8ユニット，総ページ数は106ページで，前回とほぼ同様となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○「Over the Horizon」(全学年)では，学習内容やテーマをもとに，視野を広げるなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○単元の学習を見通す「Your Plan」(全学年)や，テーマ別の「Check Your Steps」(全学年)を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年，識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに，各単元において，二次元コードを掲載し，歌アニメーションや実写映像を活用できるようにする(全学年)など，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○地域素材については，5年「Unit 1 Hello, friends!」において，ウポポイで働く韓国人によりアイヌ文化について紹介する動画が扱われている。また，6年「Unit 6 Save the animals.」において，ボルネオ島と日本の関係について「旭山動物園」の取組が扱われている。</p> <p>○ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，動画だけではなく，主体的に日本や世界について調べられる「Digital Map」や発表の際に役立つ思考ツールなどが収録されるなどの工夫がなされている。</p> <p>○小中連携については，「Sounds and Letters」で読むこと及び書くことの指導を充実させるとともに，6年教科書巻末では，「Going to Junior High School」において，中学校での学習内容・方法を紹介する配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の学習の状況等</p>	<p>○目的・場面・状況に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，3つのテーマ別8単元構成となっており，テーマごとに単元の学習を整理して発表する言語活動の充実が図られ，児童が主体的に取り組むことができる目的・場面・状況を伴った言語活動を充実させている。</p> <p>○学習への関心・意欲が高まるよう，単元の終わりには，その単元に関連した外国の映像等が取り扱われ，言語の背景にある文化を理解し，児童の学びに向かう力を育くむよう構成されている。また，児童がスモールステップで4技能5領域の力をバランスよく身に付けることができるよう言語活動の充実が図られ，別冊「My Picture Dictionary」を使って児童が言いたい単語を探すことができるような配慮もなされている。</p>

その他

○ 追加のワークシートを作成することなく書くことについての指導ができるよう、書き込み等の活用スペースにゆとりがあるなどの配慮がなされている。また、児童が言語活動を行う目的を常に意識することができるよう、学習の中心となる言語活動と、チャンツなどそれを支える活動という役割を明確化した構成にするなどの配慮がなされている。

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第5学年 第6学年	英語・511 英語・512 英語・611 英語・612	Junior Sunshine5 Junior Sunshine5 Word Book Junior Sunshine6 Junior Sunshine6 Word Book
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～好きなものや町にある場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～自己紹介やつきたい職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～音声で慣れ親しんだ英語を文字で結び付けることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた旅行会社のウェブページなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～好きな教科や身近な人のできることについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～行きたい国に係り、そこでしたいことをたずねたり「行きたい国クイズ」に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～自分ができること、できないことや、自分の注文したいものに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みの思い出や中学校でしたいことについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～自分の特別な日など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～小学校生活の一番の思い出など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、お気に入りの場所をたずねることや自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、日常生活での行動について聞くことや、理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～Lesson 8において、様々な動作の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って自分のヒー</p>				

<p>構成・ 排列、 分量等</p>	<p>ローについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で「ヒーロー図鑑」を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～Lesson 6において、学校行事の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活の思い出を発表し、思い出アルバムを作る活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第5学年～聞くことは53，読むことは23，話すこと〔やり取り〕は47，話すこと〔発表〕は9，書くことは24の活動があり，ユニット数は8ユニット，総ページ数は138ページで，前回より約3%減となっている。</p> <p>第6学年～聞くことは52，読むことは24，話すこと〔やり取り〕は49，話すこと〔発表〕は7，書くことは24の活動があり，ユニット数は8ユニット，総ページ数は138ページで，前回より約8%減となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○「Story Time」(全学年)では，これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○1年間の学習を見通す導入ページ(全学年)や，巻末の「CAN-DO チェック」(全学年)を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)，識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに，各単元において，二次元コードを掲載し，音声やクイズを活用できるようにする(全学年)など，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○地域素材については，6年「Lesson 2 Welcome to Japan.」において，日本のイベントとして「さっぽろ雪まつり」の画像が扱われている。また，5年「Story Time」において，北海道のスケート場とスキー場の画像が扱われている。</p> <p>○ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，海外の同世代の子どもたちが英語で自分や生活のことを伝える様子や音声を充実させるとともに，学習テーマに即した言語材料を用いて海外の文化や生活習慣などを紹介する工夫がなされている。</p> <p>○小中連携については，「Let's check 3」で中学校の先生に向けた自己紹介を作成するとともに，別冊「Word Book」で，小学校及び中学校でよく使用される語句に星マークが付けられるなどの配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○目的・場面・状況に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，8つの単元のゴールとなる言語活動に向けて，言語材料を活用し，実際に英語を使用したやり取りが設定されており，相手意識，目的意識をもってコミュニケーション活動ができるよう，場面設定の工夫がなされている。</p> <p>○学習への関心・意欲が高まるよう，他教科や日常生活との関連を重視しながら，多様化する生活スタイルや人種などにも配慮された言語活動の設定になるよう配慮がなされている。また，「読むこと」の言語活動の充実として，各単元末に「Story Time」が設定され，教科書や別冊絵辞典「Word Book」では，757語の語彙が扱われ，児童が知りたいことや言いたい言葉を探ることができる配慮もなされている。</p>

その他

- 各単元の記録に残す評価を行う活動では、適切な評価をすることができるよう、5つの領域と3つの観点を示されるなどの配慮がなされている。また、各単元で、できるようになったことを把握したり、振り返ることができるよう、巻末に1年間を見通した「CAN-DO チェック」があり、自己評価を適切に実施できるなどの配慮がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		15・三省堂	第5学年 第6学年	英語・513 英語・514 英語・613	Crown Jr. 5 Crown Jr. My Dictionary Crown Jr. 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～誕生日や行きたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～好きなスポーツや職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～文字と音のつながりを学ぶことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた6年生の思い出などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～好きな教科や地域の魅力について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～夏休みに係り、行った場所をたずねたり、楽しんだことに答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～得意なことや自分たちの地域に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来つきたい職業について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ふだん日曜日にするなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動</p> <p>第6学年～希望の職業についたらしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国をたずねることや、パノラマを見ながら、行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～Lesson 5において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてや</p>			

<p>構成・ 排列、 分量等</p>	<p>り取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人を紹介して、その人の素晴らしさを知ってもらう活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Lesson 5において、小学校の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校で一番の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活を振り返って、みんなで思い出を共有する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第5学年～ 聞くことは41、読むことは32、話すこと〔やり取り〕は47、話すこと〔発表〕は25、書くことは26の活動があり、ユニット数は7ユニット、総ページ数は122ページで、前回より約14%減となっている。</p> <p>第6学年～ 聞くことは41、読むことは31、話すこと〔やり取り〕は44、話すこと〔発表〕は27、書くことは24の活動があり、ユニット数は7ユニット、総ページ数は122ページで、前回より約12%減となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「ABC Fun Box」(全学年)では、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Unit全体の学習を見通す「HOP」(全学年)や、まとめの言語活動を行う「JUMP」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、モデル動画や音声を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、6年「Lesson 2 We have Children's Day in May.」において、好きな地域の行事として「YOSAKOIソーラン祭り」及び「さっぽろ雪まつり」の画像が扱われている。また、5年「Unit 3 おすすめの場所を紹介しよう」において、行きたい場所として「知床」の画像が扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、練習、コミュニケーション活動、異文化理解の資料等の音声・映像資料が視聴できるとともに、リンク先のワークシートが活用できるなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携については、6年生の最後に「英語でこんなことができた！」を設け、自身の成長を振り返ることで、中学校での学習に生かすことができるなどの配慮がなされている。また、別冊「My Dictionary」では、「英語でできること【CAN-DO】」を設け、小学校の学習でできるようになることを示すことにより、中学校の学習への見通しをもつことができるよう配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、年3回の各Unit後の言語活動に向けて、「Hop」で学習の見通しを立て、「Step」の中で4技能5領域の力を身に付けるようスパイラル式に学習し、「Jump」で学習した語句や表現から、自分で話す内容を選択し、思考力・判断力を働かせながら表現できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう、スモールステップで学習活動を積み</p>

	<p>重ね、児童が英語で表現したくなるよう配慮がなされている。また、世界のことを知る「Hello, World!」や他教科で得た知識や情報を英語の授業においても生かせるような内容となるよう配慮がなされている。</p>
その他	<p>○ 単元で身に付けるべき力を明確にし、指導者と学習者が共有することができるよう、小單元ごとにねらいが設定されており、小単元の構成が一定であることから、学習の流れが分かりやすいなどの配慮がなされている。また、思考力とコミュニケーション力を育成することができるよう、児童にとって身近な場面を設定するなどの配慮がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出		第5学年 第6学年	英語・515 英語・615
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等					<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～時間割や行きたい場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～つきたい職業や中学校の行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～日本語と英語の音の違いに気付かせることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたクラスの「思い出アルバム」などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～夢の授業や行ってみたい都道府県について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～夏休みに係り、絵日記の内容をたずねたり、伝えたい出来事に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～家での習慣や自分ができることに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みにしたことや将来の夢について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～地図記号ガイドなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～中学校でしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、ほしいものをたずねることや、自分で作ったオリジナル・メニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p>
内容の構成・排列、					<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Lesson 9において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるよ</p>

分量等	<p>うな工夫</p> <p>第6学年～ Lesson 4において、日本の食べ物について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本の文化を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事や文化を紹介するポスターを描く、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第5学年～ 聞くことは28、読むことは6、話すこと〔やり取り〕は21、話すこと〔発表〕は7、書くことは7の活動があり、ユニット数は9ユニット、総ページ数は140ページで、前回より約4%減となっている。</p> <p>第6学年～ 聞くことは18、読むことは16、話すこと〔やり取り〕は14、話すこと〔発表〕は7、書くことは16の活動があり、ユニット数は8ユニット、総ページ数は140ページで、前回より約4%減となっている。</p>
使用上の配慮等	<p>○ 「Think」（全学年）では、話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ（全学年）や、各単元の「Lessonをふりかえろう」（全学年）を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）や、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、6年「Lesson 2 My town is wonderful.」の「Let's watch」において、旭川の冬まつり、ラーメンや旭山動物園が扱われている。また、5年「Lesson 6 Where do you want to go?」において、日本の行きたい場所として、北海道が取り上げられ、ラベンダーや石狩鍋について扱われている。また、名所・名物マップでは、北海道のボールパークやウポポイなどが1ページに渡り、紹介されている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、やり取り・発表の映像やチャッツ、会話・発表等の音声を見ることができるとともに、「まなびリンク」という学習に役立つ情報を集めたウェブサイトを公開する工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携については、文法用語を使わずに、学習してきた要素を組み合わせ、文構造への気付きを促す活動を充実させている。また、最後の単元では、「My Book」を作ることで中学校での自己紹介の授業にも活用できるように、配慮がなされている。</p>
本市児童の学習の状況等	<p>○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、8つの単元のゴールとなる言語活動に向けて、学校生活に合ったテーマでペアやグループで取り組む活動を多く設けることにより、友だちとのコミュニケーションを通じて、思考や関わり合いを深め、相手に配慮しながら、よりよい対話を行うことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう、児童のやってみたい思いをできた実感につなげるため、分かりやすい活動で、無理のないインプットから徐々にアウトプットすることができるよう配慮がなされている。また、世界の文化や他の教科で学んだことを英語学習に生かすことのできる内容になっているなどの配慮もなされている。</p>

その他

- 指導者がイメージをつかんで指導することができるよう、活動の様子を表現した分かりやすいイラストが数多く使用され、巻末にワークシートがあり、追加のワークシートがなくても指導できる等の配慮がなされている。また、学習の流れを把握できるよう、単元ごとに、4技能5領域の力を身に付ける活動を分かりやすく配置し、英語に十分に慣れ親しんだ後、話す（やり取り、発表）・書く活動につなげるよう配慮がなされている。

	<p>第 6 学年～ Unit 2 において、日本の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 5 学年～聞くことは66，読むことは27，話すこと [やり取り] は16，話すこと [発表] は11，書くことは22の活動があり，ユニット数は 8 ユニット，総ページ数は153ページで，前回より約 5 % 減となっている。</p> <p>第 6 学年～聞くことは63，読むことは30，話すこと [やり取り] は13，話すこと [発表] は15，書くことは28の活動があり，ユニット数は 8 ユニット，総ページ数は145ページで，前回より約 11% 減となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「世界の友達」（全学年）では，各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観に触れるなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ Unit の話題を自分のことに引き付ける「About You」（全学年）や，巻末の「All About Me」（全学年）を設けるなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年），識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに，各単元において，二次元コードを掲載し，アニメーションや音声を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，6 年「Unit 2 Welcome to Japan.」において，日本のイベントとして「さっぽろ雪まつり」の画像が扱われている。また，「ICTを活用しよう」では，北海道の小学校の例が扱われている。また，5 年「You can do it! 3」において，ウポポイの画像が扱われている。</p> <p>○ ICT の活用については，1 人 1 台端末を活用した学習活動として，学習に必要な音声や映像のほか，発表ややり取りの言語活動のモデル映像等を見ることができるよう工夫がなされている。また，「ICTを活用しよう」では，授業における ICT 機器の活用を紹介するなどの工夫もなされている。</p> <p>○ 小中連携については，6 年巻末に「中学校に向けて英語の学習を続けていこう！」を設け，中学校での学習内容・方法について示す配慮がなされている。また，6 年巻末では，「All About Me」を作ることで，中学校での自己紹介の授業にも活用できるよう配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 目的・場面・状況に応じて，互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう，3 つのテーマ別 8 単元構成となっている。既習表現を振り返る仕掛けが設定されており，思考・判断・表現しながら，「話すこと」や「書くこと」の領域で発信できるよう構成され，互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実を図るなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう，世界各国で実際に生活する小学生の映像を通し，本物の情報から，多様な文化や価値観に触れられるような配慮がなされている。また，ストーリーアニメや別冊絵辞典「Picture Dictionary」などを通して，意欲的に学習に取り組めるような配慮もなされている。</p>
	<p>○ 既習表現を生かし，豊かな言語活動を実現することができるよう，各 Unit における教室での実際の Small Talk のきっかけになるミニアニメが設定さ</p>

その他

れるなどの配慮がなされている。また、一年間の自分の学びが可視化できるように、各学年の巻末に学習の成果が一覧できるシートを設定するなどの配慮がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		61・啓林館	第5学年 第6学年	英語・517 英語・617	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～誕生日にほしいものや行ってみたい国など身近で簡単な事柄について基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動 第6学年～好きなものや行ってみたい部活動など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～アルファベットの名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動 第6学年～音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた将来の夢を伝える吹き出しのセリフなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～食べたいものや自分の家までの最短ルートについて互いに紹介するなど自分の考えや気持ちを伝え合う活動 第6学年～自分の住む地域に係り、必要だと思うものをたずねたり、その理由を答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～日本の食べ物やアニメのキャラクターに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動 第6学年～簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の憧れている人や小学校の思い出について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～友だちができることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動 第6学年～印象に残ったできごとなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第5学年～単元を見通した学習課題を設定し、行ってみたい国をたずねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動 第6学年～単元を見通した学習課題を設定し、中学校で行ってみたいことをたずねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p>				
内容の構成・排列、	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第5学年～ Unit 3において、1日の生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って家での仕事についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、放課後の過ごし方について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学</p>				

分量等	<p>習できるような工夫</p> <p>第 6 学年～ Unit 2 において、季節ごとの日本の楽しみについて聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本で楽しめるものを紹介し合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 5 学年～聞くことは100、読むことは21、話すこと [やり取り] は32、話すこと [発表] は18、書くことは15の活動があり、ユニット数は 8 ユニット、総ページ数は152ページで、前回より約10%増となっている。</p> <p>第 6 学年～聞くことは100、読むことは22、話すこと [やり取り] は24、話すこと [発表] は26、書くことは30の活動があり、ユニット数は、 8 ユニット、総ページ数は152ページで、前回より約10%増となっている。</p>
使用上の配慮等	<p>○ 「Friends around the World」(全学年)では、世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促すなど児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 見通しをもって学習が進められる Unit 全体の GOAL (全学年)や、巻末の「Can-Do List」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや単語クイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、6年「Unit 2 Welcome to Japan.」において、ご当地グルメとして「ジンギスカン」が扱われるとともに、「Step 2 Listen and Do 1」において、北海道の雪まつりと寿司が扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、言語材料の使用場面や状況が分かるアニメーションやゴールイメージをもてるような参考映像、外国の生活や文化を紹介する映像等を見ることができるとともに、個別学習への対応として、チャンツやクイズ、アクティビティのヒントが用意されているなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携については、慣れ親しんだ表現を音声とともに声に出したり、音声に合わせて文字を指で追ったりする活動を通して、徐々に英語を読む力を身に付けられるよう配慮がなされている。また、慣れ親しんだ英文を書く活動を通して、書くときのルールを学ぶことができるよう配慮がなされている。</p>
本市児童の学習の状況等	<p>○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、コミュニケーションの目的・場面・状況を設定した活動を通じて、思考力を養うとともに、8つの単元ゴールとなる言語活動に向けて、各 Step で学習したことや思考したことをまとめる言語活動が設定されなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 学習への関心・意欲が高まるよう、外国の人たちが、自分たちの生活や国について紹介する映像や、異文化と日本とのつながり等を紹介するページがあり、多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育めるよう配慮がなされている。また、各 Step に Activity として「話す」活動が設定されており、児童の話したいと思う気持ちを叶える配慮もなされている。</p>

その他	<p>○ 単元で身に付けるべき力を指導者と学習者が共有することができるよう、小单元ごとにねらいが設定されており、巻末には、「Can-Do List」が設けられ、1年間の学びが可視化できるよう配慮されている。また、各単元の導入では、言語材料の使用場面や、児童が目指すべきゴールのイメージを把握できるよう視覚化されているなどの配慮がなされている。</p>
-----	---